



**KUMAGAI GUMI**

———— Building the future

第 **77** 期

中間株主通信

平成25年4月1日▶▶▶平成25年9月30日

株式会社 熊谷組

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成25年9月30日をもって第77期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の概況についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、公共投資が増加を続けたほか、輸出環境の改善や好調な内需を背景に生産や設備投資に持ち直しの動きがみられ、また、雇用情勢についても引き続き改善傾向を示すなど、景気は概ね回復基調となりました。

建設業界におきましては、公共工事は関連予算の執行により増加し、民間工事も企業の建設投資が底堅く推移したのに加え、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり住宅投資が増加いたしました。しかしながら、建設コストが労務費を中心に高止まりしており、公共工事における設計単価の引き上げ等はあるものの、依然として先行き不透明な事業環境が続いております。

当上半期の当社グループの連結業績につきましては、売上高は、前期繰越高の増加により、前年同期比25.7%増の1,381億円となりました。利益は、売上高の増加及び売上総利益率の改善により、営業利益は16億円、経常利益は14億円となり、第2四半期の四半期純利益は16億円となりました。

今後のわが国経済は、海外経済の下振れがリスクとして存在しますが、各種政策の効果が発現するなかで、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移していくものと期待されます。

建設業界におきましては、公共工事は昨年度大型補正予算の本格実施により増加することが見込まれ、民間建設投資及び住宅投資も企業収益や個人消費の改善を背景に増加基調をたどる



取締役社長

樋口 靖

と予想されます。しかしながら、建設コストは当面高止まりするものと思われ、事業環境は引き続き予断を許さない情勢にあります。

このような状況のもと当社グループは、本年4月に策定いたしました「中期経営計画（平成25～27年度）」に基づき、総力を挙げて業績の早期回復に取り組んでおります。

土木事業につきましては、「道路・鉄道トンネル分野のインフラ整備」、「防災・減災のためのインフラ整備」、「老朽化したインフラの維持更新」に対応してまいります。

建築事業につきましては、受注・施工段階における収益力のさらなる強化を図るとともに、市場環境の変化が業績へ与える影響を抑えるために、受注市場の多様化を進めてまいります。

当社グループといたしましては、「全員参加の経営」をスローガンとして掲げ、「ものづくり」から生まれる「品質」と「誠実な営業」、「誠実な施工」、「誠実なフォロー」で、どこよりも信頼される企業を目指してまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

#### ■ 企業集団の財産及び損益の状況の推移

(百万円)

区 分	前上半期	当上半期	前 期
売 上 高	109,903	138,172	260,753
四 半 期 純 利 益 又は四半期（当期）純損失（△）	△2,094	1,619	△1,083
1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益 又は四半期（当期）純損失（△）	△11円42銭	8円67銭	△5円91銭
総 資 産	180,430	206,952	202,800

## 単体の業績について

受注高は、前年同期比49.3%増の1,702億円となりました。このうち、土木工事は389億円、建築工事は1,312億円であり、これらの発注者別内訳は官庁19.8%、民間80.2%であります。国内、海外別で見ますと、国内工事は1,702億円、海外工事は4百万円であります。

売上高につきましては、同33.3%増の1,088億円となりました。このうち、土木工事は329億円、建築工事は758億円であり、これらの発注者別内訳は官庁21.5%、民間78.5%であります。国内、海外別で見ますと、国内工事は1,087億円、海外工事は2千万円であります。

この結果、下半期への繰越高は、同25.3%増の2,851億円となりました。このうち海外工事は1億円であります。

利益につきましては、経常利益は18億円、第2四半期の四半期純利益は23億円となりました。

### ■ 受注高・売上高及び繰越高 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで) (百万円)

区 分	受注高	売上高	繰越高
土 木	38,948	32,949	80,266
建 築	131,287	75,867	204,870
合 計	170,236	108,817	285,136

### ■ 財産及び損益の状況の推移 (百万円)

区 分	前上半期	当上半期	前 期
受 注 高	113,952	170,236	223,429
売 上 高	81,627	108,817	194,918
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△)	△1,968	2,354	△2,389
1株当たり四半期純利益 又は四半期(当期)純損失(△)	△10円66銭	12円54銭	△12円95銭
総 資 産	142,166	166,244	157,620

### ■ 主な受注工事及び完成工事

#### 受注工事

- 原発委第4号 桑折地区住宅除染業務委託：桑折町
- 八鹿日高道路三谷トンネル（北側）工事：国土交通省
- (仮称)ららぽーと和泉新築工事：三井不動産株式会社
- 新子安1丁目18番計画新築工事：三菱地所レジデンス株式会社

#### 完成工事

- 飯坂クリーンサイト第2期最終処分場第1工区建設工事：株式会社グリーンテック
- 三陸鉄道南リアス線、盛・吉浜間災害復旧工事：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 北海道済生会小樽病院新築工事：社会福祉法人恩賜財団済生会
- (仮称)川崎大師駅前計画：三井不動産レジデンシャル株式会社

## 四半期連結財務諸表の概要

### ■ 四半期連結貸借対照表

(百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>	
流動資産	167,130
固定資産	39,822
有形固定資産	14,289
無形固定資産	194
投資その他の資産	25,338
資産合計	206,952
<b>(負債の部)</b>	
流動負債	130,714
固定負債	27,959
負債合計	158,673
<b>(純資産の部)</b>	
株主資本	43,635
その他の包括利益累計額	3,185
少数株主持分	1,457
純資産合計	48,278
負債純資産合計	206,952

### ■ 四半期連結損益計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
売上高	138,172
売上原価	130,681
売上総利益	7,490
販売費及び一般管理費	5,870
営業利益	1,620
営業外収益	311
営業外費用	436
経常利益	1,495
特別利益	850
特別損失	585
税金等調整前四半期純利益	1,760
法人税、住民税及び事業税	257
法人税等調整額	△90
少数株主損益調整前四半期純利益	1,592
少数株主損失	26
四半期純利益	1,619

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	271
現金及び現金同等物の増加額	7,354
現金及び現金同等物の期首残高	37,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,521

○連結の範囲について

連結子会社7社及び持分法適用関連会社3社

(主要な連結子会社)

株式会社ガイアートT・K	(東京都新宿区)
テクノス株式会社	(愛知県豊川市)
ケーアンドイー株式会社	(東京都新宿区)
華熊營造股份有限公司	(台湾)

## ポイント

### ■ 四半期連結貸借対照表

総資産は2,069億円と前期末に比べて41億円増加しました。これは、工事収支の改善等に伴い現金預金が増加したことなどによるものです。また純資産は四半期純利益の計上等により前期末に比べて28億円増加の482億円となりました。なお自己資本比率は純資産の増加により前期末に比べ0.9ポイント改善し22.6%となりました。

### ■ 四半期連結損益計算書

売上高は前期繰越高の増加により前期に比べて282億円増加の1,381億円となり、売上総利益率の改善により経常利益は14億円、四半期純利益は16億円となりました。

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

売上債権の回収等により、営業活動は84億円の資金増加となりました。投資活動では貸付金の回収等により2億円の資金増加となりました。財務活動では借入金の返済を進めたことなどにより16億円の資金減少となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ73億円増加の445億円となりました。

## CSR報告書の記事を一部ご紹介

### トップメッセージ

本年6月27日に取締役社長に就任いたしました樋口靖より、「社会の変化と建設業の使命」、「社会の変化に対応した事業展開」、「全員参加の経営」といったキーワードから、難局突破に向けた所信表明を掲載しております。

### 震災復興

東日本大震災の津波により駅舎や線路が流出し、全線不通になっていた三陸鉄道南リアス線のうち盛～吉浜間の復旧工事を行いました。震災がもたらした破壊は予想を遥かに超えて大きく、難工事が続出しましたが、厳しい工程のなか絶対に諦めないという「熊谷魂」で完成引渡をいたしました。



### 現場を率いる作業所長の1日

作業所長は建設現場を統括する責任者であり、現場を指揮するだけでなく、発注者や設計事務所、エンドユーザーや近隣住民など工事に関わるあらゆる団体・人とコミュニケーションを取りながら工事を進めていきます。その現場の最前線に立つ作業所長の1日を追ってみました。

## ご希望の方にはCSR報告書をお送りします

本年7月に「熊谷組グループCSR報告書2013」(A4版、32ページ)を発行しました。当社グループの「ものづくり」の取り組み姿勢、環境、社会貢献に関する具体的事例を幅広く紹介しています。

ご希望の方はメールまたはFAXで、「CSR報告書希望」と書き、送付先の郵便番号、住所、氏名を当社下記CSR報告書請求先までお知らせください。

なお、お知らせいただいた個人情報は、CSR報告書の送付のみに使用させていただきます。

### CSR報告書請求先

(メールアドレス) info@ku.kumagaigumi.co.jp  
(FAX) 03-5261-9665



発行済株式の総数	236,872,607株
普通株式	201,704,607株
第2回第1種優先株式	35,168,000株

### 株主数

普通株式	58,426名
第2回第1種優先株式	1名

### 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社三井住友銀行	普通株式 4,827 第2回第1種優先株式 35,168 計 39,995	17.07%
熊谷組取引先持株会	普通株式 21,833	9.31%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	普通株式 5,669	2.42%
熊谷組持株会	普通株式 4,647	1.98%
熊谷組互助会	普通株式 3,883	1.65%
ML INTL EQUITY DERIVATIVES	普通株式 3,407	1.45%
笹島建設株式会社	普通株式 1,910	0.81%
三菱UFJモルガン・スタン レー証券株式会社	普通株式 1,866	0.79%
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	普通株式 1,825	0.77%
熊谷太一郎	普通株式 1,796	0.76%

(注) 1. 当社は自己株式2,581千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 取締役及び監査役

取締役会長 (代表取締役)	大田 弘	取締役	櫻野泰則
取締役社長 (代表取締役)	樋口 靖	取締役	山崎 晶
専務取締役	石垣和男	常勤監査役	竹間忠尚
専務取締役	草桶昌之	常勤監査役	吉川 司
常務取締役	小川 晋	監査役	篠原啓慶
常務取締役	堀田 俊明	監査役	垣見 隆

(注) 監査役篠原啓慶及び垣見隆の両氏は社外監査役であります。

### 執行役員

※執行役員社長	樋口 靖	執行役員	大島邦彦
※専務執行役員	石垣和男	執行役員	土屋良直
※専務執行役員	草桶昌之	執行役員	飯田 宏
※常務執行役員	小川 晋	執行役員	平島 司
※常務執行役員	堀田俊明	執行役員	今野穂信
常務執行役員	作本裕行	執行役員	西川邦隆
常務執行役員	栗林 棟一	執行役員	石澤正通
常務執行役員	森次誠治	執行役員	林 克彦
常務執行役員	渋川 智	執行役員	手島眞之
常務執行役員	小川嘉明	執行役員	日高功二
常務執行役員	高嶋正彦	執行役員	嘉藤好彦
※執行役員	櫻野泰則	執行役員	岸 研司
※執行役員	山崎 晶	執行役員	梶山雅生
執行役員	田代静夫		

(注) ※印は取締役兼務であります。

# 会社の概要

(平成25年9月30日現在)

創業 明治31年1月 資本金 133億4,116万2,615円  
設立 昭和13年1月 従業員数 2,211名

## 主要な営業所等

**本店**  
福井市中央2丁目6番8号  
〒910-0006 TEL (0776) 21-2700

**東京本社**  
東京都新宿区津久戸町2番1号  
〒162-8557 TEL (03) 3260-2111

**北海道支店**  
札幌市中央区南1条西6丁目11番地  
〒060-0061 TEL (011) 261-7271

**東北支店**  
仙台市青葉区上杉5丁目3番36号  
〒980-0011 TEL (022) 262-2811

**首都圏支店**  
東京都新宿区津久戸町2番1号  
〒162-8557 TEL (03) 3260-4750

**名古屋支店**  
名古屋市中区栄4丁目3番26号  
〒460-8402 TEL (052) 238-3011

**北陸支店**  
金沢市小金町9番18号  
〒920-8721 TEL (076) 253-3100

**関西支店**  
大阪市西区靱本町1丁目11番7号  
〒550-0004 TEL (06) 6225-2226

**中四国支店**  
広島市中区大手町4丁目6番16号  
〒730-0051 TEL (082) 241-3222

**海外拠点**  
中国 (香港)、台湾、ベトナム、スリランカ

**九州支店**  
福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号  
〒810-0004 TEL (092) 721-0011

**国際支店**  
東京都新宿区津久戸町2番1号  
〒162-8557 TEL (03) 3235-8639

**技術研究所**  
つくば市鬼ヶ窪1043番地  
〒300-2651 TEL (029) 847-7501

# 株式インフォメーション

## 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

## 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、右記の電話照会先をお願いいたします。

## 単元未満株式の買増請求のお取扱いについて

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式数と併せて単元株式数(1,000株)となる株式数について、当社に買増請求をすることができます。お手続きの詳細につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は口座のある証券会社に、証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にお問い合わせください。

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月開催  
**基準日** 定時株主総会 毎年3月31日  
剰余金の配当 毎年3月31日  
そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

**株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先)** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(電話照会先)** ☎0120-782-031  
**(インターネットホームページURL)** <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

**公告の方法** 当社のホームページに掲載します。  
<<http://www.kumagaigumi.co.jp/>>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

**上場証券取引所** 東京証券取引所